



西覚寺だより

第十三号 年四回発刊

秋季彼岸会法要のご案内

● 日にち 九月 二十三日 (木・祝)

● 午前の座 午前十時半 ～ 正午

内容 讃仏偈(唱和なし)
・ご法話

● 午後の座 午後一時半 ～ 午後三時頃

内容 讃仏偈(唱和なし)
・ご法話

● 布教使 山宮真船 師(愛知県・練者)

● 持ち物 必ずマスク着用の上、御参拝下さい。

マスクは「不織布マスク」推奨
お念珠、門徒式章(お持ちの方)、
御仏前(受付にお渡し下さい)

※ 感染症対策のため「お斎」はありません。

※ 感染症対策として、お勤めの唱和はしません。

※ 午後の方が、比較のお席に余裕があります。

※ 他、換気・手指消毒・検温など感染症対策を
講じた上で開催します。みなさまもご協力、
よろしくお願い致します。

【コラム】(できれば次で終わりたい)

善人が救われるのなら、
悪人が救われるの言うまでもない

承前、「歎異抄」というお書物の

「善人なをもて往生をとぐ、いはんや悪人をや。」

(意訳) 「善人さえも阿弥陀さまのお浄土へ生まれさせてもらう
のだから、まして悪人はなおさらのことである。」



という一説について書いています。

ある先生が仰るには、やはり仏教における、「善と悪」とは、「さとりに向かう方向性」の問題である。つまり、「さとり」へ向かうに正しい行為なら、それは「善」。「さとり」に向かない行為なら、それは「悪」である。これが基本であり、「さとりに向かう行為ができるもの」が「善人」であり、「さとりに向かう行為ができないもの」が「悪人」である、となります。私たちが日常の範囲で考え得る、いわゆる「いい人・悪い人」ということではなくなります。

つまり、「歎異抄」のここで親鸞聖人が言う「悪人」というのも、「さとりに向かう修行のできないもの」という意味だと、その先生は仰います。

ということならば、日常のことに追われ、仏道修行とは無関係の生活を送っている私たちも、おのずから「悪人」となってしまうですね。ただ、何にせよ大切なことは、それは人に「あなた私は悪人である」と言われたから「私は悪人だ」ということではなく、そこに「自覚」があるのか、だと思っっています。

では、その善人が救われるのなら、悪人が救われるのはなおさらのことである、とはどういうことなのでしょう。

まず、阿弥陀さまはどんな仏さまかというところ、生きとし生けるものを、みな平等に(ひとつの方法で)、必ずお浄土へ救いますから、すべて私に任せなさい、と誓われおはたらき下さっている仏さまでした。

わたしたちの世界には前述のように様々な人がいます。善人もいれば、悪人もいます。そのものを区別することなく、みな漏らさずに救うにはどうしたらいいか。どこに焦点をあてたらいいか、どのものを真の「目当て」とすべきなのか。阿弥陀さまはとてとても悩みぬかれて、ひとつの答えをお導きになりました。

それこそ、「悪人正機」、悪人をまさしき目当てとされたのです。悪人正機の「正機」とは、「まさしき目当て」ということです。

(裏面へ)

【コラム】善人が救われるのなら、

悪人が救われるのは言うまでもない

(前ページより)

例えば、クラスの中には、成績優秀の生徒もいれば、いつも低い点数しか取れない生徒もいるでしょう。その生徒全員に「あるテストで100点を取らせた」としたらどうしたらいいか。それはやはり成績優秀の子に合わせた話し方をするのではなく、点数の低い子に合わせた授業内容にしなければ、みんながみんな100点を取ることは難しいのではないのでしょうか。

「正機」の対語としては「傍機」という言葉があります。これは「かたわらの目当て」ということです。もっとわかりやすく敢えて言うならば「ついで」の目当て」と言えばわかりやすいでしょうか。

悪人が正機ならば、善人は傍機となります。もちろん、阿弥陀さまの「み心」はすべてのものに平等に向けられています。

これはお経さまの中にも説かれている例えですが、自分が親だとして子供が数人いたとします。その子ども、たしかに凸凹はあるかもしれないけれど、根っここの部分はみな同じように大切に思っていることでしょう。その中で誰かひとりが風邪を引き熱を出したら、みな同じように大切に思っていること、引き熱を出した子に、より一層の手間をかけ、早く風邪が治ることを願うものです。

すべてのものに平等に向けられ、すべてのものを漏らさず救うからこそ、阿弥陀さまは悪人を正機とせざるを得なかったのではないのでしょうか。

すると、「善人が救われるのなら、悪人が救われるのは言うまでもない」という『歎異抄』のお言葉も、「悪人が正機、善人が傍機」の文脈で考えれば、少し腑に落ちるかもしれません。私たちは常に物事を「論功行賞的・勸善懲惡的」に考えますが、まったくその逆となってしまうのです。

しかし、大事なことは、「大切なことはただひとつ、私にすべてを任せなさい」という阿弥陀さまの願いをどう聞かせて頂いているのか、ということなのです。

(次号へ)



梅本葬祭さんからお知らせ



このたび、みなさまに長らくご愛顧賜りまして「株式会社梅本」は廃業致しました。

それに伴い7月1日(木)より新しく「株式会社梅本葬祭」として設立いたしました。いままで「株式会社梅本」をご愛顧頂きました施主様たちには並々ならぬご厚志を賜り誠にありがとうございました。

また新店舗にて再スタートし、所在地や電話番号の変更で大変ご迷惑をおかけします。

新しい店内にはコロナウイルス対策をした打合せ場所を設けましたので安心してご相談にもご利用いただけるものと存じます。

今後は今まで以上により質の高いサービスを提供するために鋭意努力して参る所存でございます。何卒皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社 梅本葬祭

代表取締役 梅本幸治

新事務所 安城市赤松町大北89番地

フリーダイヤル 0120・71・5177

TEL 0566・71・5177

FAX 0566・71・5172

◆ 住職の一言コーナー ◆

つい先日、私はようやく、新型コロナワクチンの一回目を接種しました。ワクチンを打って打ってというけれど、ワクチン打つのにひと苦労。おかしな話。

学校の先生が「宿題をしなさい」と仰る。先生に「宿題はどこにありますか」と聞いても、「この学校の中のどこかにあるから、自分で探さない。」と言われていた。いいですか？私は宿題をしなさいとは言いましたからね？」と。

さて、ワクチンは、打てる人打てない人、その人の状況で様々なこととあります。ワクチン未接種の方に対する差別偏見が蔓延しないことを願います。

ただ、ワクチン接種済でもワクチン未接種でも、感染拡大を予防するということは、公衆衛生上、みんなで協力していきたくところ。まずは、外出の際は必ずマスクをしましょう。マスクについて、今改めて言われているのが、「不織布マスク推奨」です。ウレタン・布マスクは防疫力が低いそうです。



浄土真宗本願寺派 西覚寺

安城市朝日町12・8

☎ 0566・76・3594

http://saikakuji.sakura.ne.jp/wp/